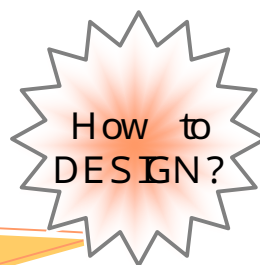




みんなで考えよう！木のまちのものづくり。

ものづくり実行委員会 NEWS LETTER

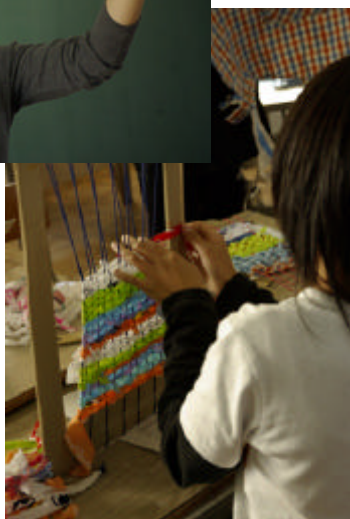


発行 :ものづくり実行委員会 発行責任者 :今井康人
〒519-3406 三重県北牟婁郡紀北町海山区相賀287-14
グッドウッズ内 TEL0597-32-0033



2007/ 12/ 16

去る10月13日、今年度の『第1回 ものづくり教室』が開催されました。ここにその内容と今後の活動予定を報告いたします。「一人一作運動」も始めます。ご意見・ご希望など何でも結構です。今後、活動を進めるにあたり、皆さんの積極的な参加をお待ちしております！！



ものづくり「篠田」教室

平成十九年十一月十三日、東京藝術大学および「アヲ」株式会社のご協力のもと「第一回ものづくり教室」を開催いたしました。講師に、東京藝術大学卒業生で、現在、作家活動をされている篠田恵里佳先生をお招きして、「工」を考える」と題して、三重県北牟婁郡紀北町の西小学校で開催致しました。家庭でいらなくなった衣類・毛糸を使用し、裂き織りという手法をもとに、廃材となった段ボールの枠に、タテ糸・横糸を張りめぐらせて、30cmの空間の中に各々のオリジナルティあふれる作品を制作していただきました。もともと民芸染織・民芸とは手作りの日用雑貨・雑器であった「裂き織り」は、これといった決まりごとがなく、誰にでも自由に楽しめる織物です。子供達は、自分達の発想のまま、様々な作品づくりを、授業時間をオーバーしていても、一生懸命つくっていたのが印象的でした。

裂き織り(きぎおり)とは、

日本では、江戸時代中期から、綿花の栽培が盛んとなり、木綿の布が、庶民の衣服として広く普及しました。しかし、綿花の栽培ができない寒冷地では、北前船などで運ばれる、古手の木綿が唯一の供給源でした。ですから、昔の人たちは木綿をとっても大切にしました。なんども繕って着ました。そしてもうこれ以上繕えなくなったとき、細い紐のように裂いて織りものの緯糸(よこいと)として織り込んでいったのです。擦り切れたり、汚れて、もはやそのままでは使えなくなった布も、裂いて、糸の状態にして、もう一度織りなおせば、貴重な布を最後まで使えて、そして再び新しい布として、よみがえらすことができましたからです。これを「裂き織り」(きぎおり)といいます。

ものづくり「篠田」教室の作品展示等

今回の第一回ものづくり教室「の作品展示を、尾鷲ヒノキで造ったフレームと」『アヲ』として平成一九年二月より、公共施設や授業開催した紀伊長島区の西小学校にて展示いたします。お楽しみに……。

又、当日の授業風景等は、平成一九年二月に東京ビックサイトで開催されます「エコプロダクツ展」の「アヲ」コーナーのブースにおいてパネル展示される他、「ものづくり実行委員会」公式ブログ「ヒノキバッカー」で公開しております。一度、覗いてみてください。



【平成19年度活動計画】

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地元・大学相互情報交換・連携 (コクヨ株)調整)											
ものづくり教室「染織」 紀北町紀伊長島区 西小学校							13日	紀北町内 公共機関等で展示			
ものづくり教室「鋳金」 紀北町海山区 潮南中学校										2月1日 開催	
一人一作運動の開催 と作品公開展示										2月10日 展示	
市場調査 現地調査									1月19・ 20日実 施		

【主な事業の内容】

- ・ものづくり教室・・・染織 鋳金をベースに小中学生を対象に開催。(一般参加は不可・見学者は事前申込により受付)
- ・一人一作運動・・・地域資源のヒノキをはじめ、地域の「ものづくり」者の発掘と育成、販売促進を目指す。
- ・東京芸術大学 紀北町の学外拠点づくり 地域連携等に根ざしたリサーチや行動
- ・市場のリサーチ等

「一人一作運動」参加者 大募集

現在、ものづくり実行委員会と協働している地域のものづくりを行っている方々の集まりである「ものづくり専門分科会」があります。会員の充実を図る為、ものづくりに参画できる人を発掘し、今後の制作活動の中で、自己啓発の促進・デザイン向上・技術の切磋琢磨出来る人を捜しています。今回、「一人一作運動」と題して、参画できる人を募集しています。

参加希望の方は、

ものづくり実行委員会 事務局 服部まで

連絡先

GOOD WOD'S (グッドウッド)

0597-32-0033

北牟婁郡紀北町海山区相賀287-14

又、ご参加いただく場合に、事前に説明させていただきます



日程、内容等は正式決定ではありません。詳細決まり次第ご報告いたします。

主催 ものづくり実行委員会

会場 平成二十年二月十日(日)
紀北町海山区渡利「ギャラリー渡利」(伯今井邸)
出展者 一人一作運動参加者 ものづくり専門分科会・
県外作家2名(東京芸術大学OB)

「一人一作運動」の作品展

「一人一作運動」の開催について
当実行委員会として、専門委員会を組織して地域のプロの方々や極めて高いものづくりの技能をお持ちの方に東京藝術大学の工芸の先生方のご指導を得て高みを目指した様々な視点からの勉強会や展示会を実施してまいりました。特に松にこだわった作品の製作を行い、昨年は銀座の新井画廊で芸大と共に展示会を行うまでになりました。今後より多数の方の参加を得るために、地域で隠れた「ものづくり人」の発掘と参加を募集し、展示会を計画しました。これを機会により広いものづくり運動への発展を目指します。